

2. 公共施設の現状と課題

2-1 概要

(1) 対象施設

- ・二宮町公共施設再配置に関する基本方針において指定されている66施設。

施設分類	施設
庁舎	役場庁舎 二宮町町民サービスプラザ 教育委員会事務所 消防庁舎
貸館	二宮町町民センター 二宮町駅前町民会館 (旧)二宮町ふるさとの家
福祉施設	二宮町保健センター 二宮町福祉ワークセンター
スポーツ施設	二宮町立体育館 二宮町民運動場 二宮町武道館 二宮町民温水プール 町営山西プール
文化施設	二宮町生涯学習センター ラディアン 二宮町ふたみ記念館
教育施設	小学校(3校) 中学校(2校) 二宮町学校給食センター
子育て関連施設	二宮町立百合が丘保育園 子育てサロン(2施設)
消防施設	分団詰所(5施設)
地域集会施設	児童館(8施設) 老人憩いの家(9施設) 公会堂(2施設) 防災コミュニティセンター(6施設)
その他	自転車駐車場(2施設) 袖が浦プール 公園管理棟(3施設) 二宮町ITふれあい館(みちる愛児園) にのみや町民サポートセンター 二宮町環境衛生センター桜美園 二宮町ごみ積替施設 ウッドチップセンター

(2) 現状の整理の視点

- ・施設ごとに、以下の視点から現状を整理し課題を整理。

視点	内容
①施設配置	将来人口、交通利便性、地形、災害リスクに対する施設配置の状態
②利用状況	利用状況、利用者数
③管理体制	施設の管理体制、運営体制
④町有の必要性	他自治体における民間施設におけるサービス維持の事例の有無
⑤統廃合・複合化の可能性	サービス・施設内容・施設配置の特性による統廃合・複合化の可否
⑥公民連携の可能性	サービスの委託、施設の民間所有、民間収益事業等の可能性 民間参入事例の有無
⑦耐震性、老朽化	耐震性、老朽化の状況
⑧H27年度収支	1年間の収入と支出
⑨今後50年間の更新費	今後50年間の更新に要するコスト

2-2 施設ごとの現状と課題

役場庁舎

竣工1978.6.30 延床3,207.09㎡ RC造

【概要】

町政、行政サービスの中心であり、町長の執務室、町議会、各部課の事務所が集まる。

災害時には災害対策本部が設置される。

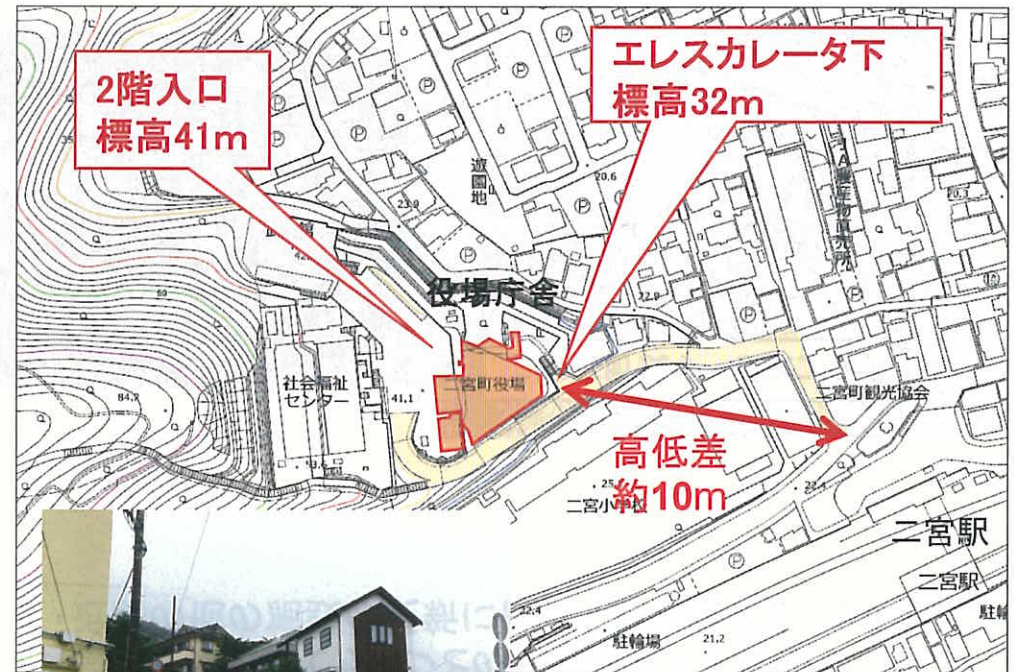


【現状】

視点	内容
①施設配置	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮駅に近く交通利便性は高い ・坂道を登らなければアクセスできないため、高齢者や車いす等の町民にとっては利用しにくい
②利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会議員、町職員、町民、事業者が利用。
③管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・町が管理運営している。
④町有の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間ビルに入居した事例もある。 事例) 熊本県合志市、愛知県高浜市
⑤統廃合・複合化の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・他の公共施設と複合化することは可能
⑥公民連携の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間ビルへの町役場の入居、庁舎への民間の入居、庁舎と民間施設の一体整備等が可能 ・窓口サービスの民間への委託は可能。
⑦耐震性、老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性が低く、設備の老朽化も進んでいる。
⑧H27年度収支	<ul style="list-style-type: none"> ・収入290千円、支出37,914千円
⑨今後50年間の更新費	<ul style="list-style-type: none"> ・更新費: 約21億円

【課題】

- ・耐震性が低く、老朽化が進み更新・改修の緊急性は高い
- ・将来的な役場庁舎の検討が必要。
- ・暫定庁舎には、他の施設との複合化、民間施設の併設等を検討する。



二宮駅から役場庁舎にアクセスする坂道

2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町町民サービスプラザ

【概要】

竣工1966.2.15 延床一㎡ RC造

各種証明書の発行等身近な行政サービスの窓口

百合が丘中央商店街内に開設している。

(借上げ施設)



【現状】

視点	内容
①施設配置	・役場庁舎から約2km離れた百合が丘に開設されており役場の行政サービスを補完している。 ・バス停に近い。
②利用状況	・町北部の町民が利用している。隣の子育てサロン等と連携しながら地域の憩いの場となっている。 ・平成27年度の年間利用者数は約2,400人。
③管理体制	・施設は民間が所有管理、運営は町が行っている。
④町有の必要性	・町有である必要性は低い。
⑤統廃合・複合化の可能性	・複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	・コンビニ等での代替も可能(マイナンバーを使用し機械で交付する手法と窓口での請負業務のみを対象とするケースがある)。
⑦耐震性、老朽化	—
⑧H27年度収支	・収入0円、支出5,733千円
⑨今後50年間の更新費	・賃貸料年額1,471千円

【課題】

- ・隣接する子育てサロンとの統合が考えられる。
- ・近隣の他の施設の更新に併せて複合化することも考えられる。



商店街の一画にある

2-2 施設ごとの現状と課題

教育委員会事務所

竣工1975.3 延床399.72㎡
RC造

【概要】

教育委員会の事務所。
役場庁舎の西側、二宮町町民センターの隣にある。

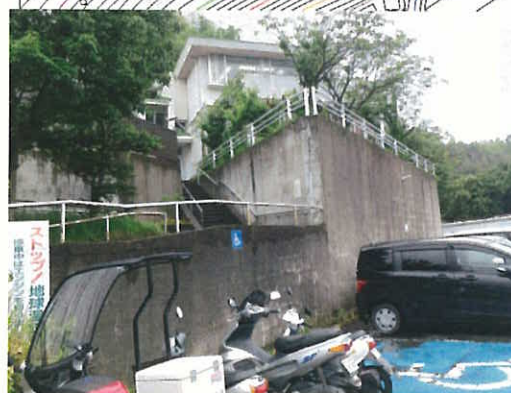


【現状】

視点	内容
①施設配置	・二宮駅に近く交通利便性は高い。
②利用状況	・教育委員会の職員や町民が利用している。
③管理状況	・町が管理運営している。
④町有の必要性	・民間ビルに入居する事例もある 事例)熊本県合志市、愛知県高浜市
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の公共施設と複合化することは可能
⑥公民連携の可能性	・民間ビルへの入居、庁舎への民間の入居、庁舎と民間施設の一体整備等が可能 ・サービスの民間委託はできない。
⑦耐震性、老朽化	・耐震性が低く、設備の老朽化も進んでいる。
⑧H27年度収支	・収入0円、支出2,280千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費:約2億円

【課題】

- ・耐震性が低く、老朽化が進み更新・改修の緊急性は高い
- ・教育委員会だけで更新することは、非効率。
- ・役場庁舎と一体的に更新・改修を検討する。



擁壁の上に建てられている

2-2 施設ごとの現状と課題

消防庁舎

竣工1972.1.31 延床1,213.08㎡ RC/S造

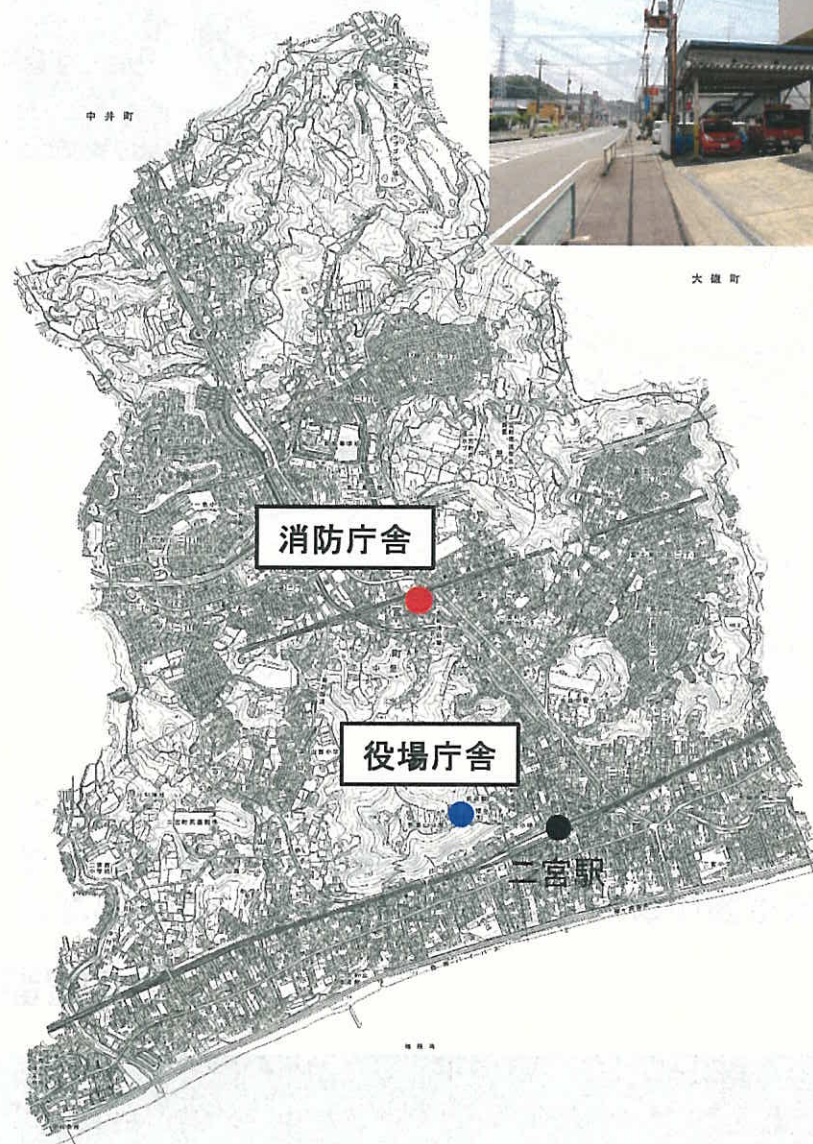
【概要】

消防本部が設置されている。
火災予防の啓発、救急救助、
火災・自然災害に備える。
災害時、役場庁舎が使用できない場合は災害対策本部が置かれる。



【現状】

視点	内容
①施設配置	
②利用状況	
③管理状況	
④町有の必要性	平塚市・大磯町・二宮町で消防の広域化を検討中であるため、検討対象としないこととする。
⑤統廃合・複合化の可能性	
⑥公民連携の可能性	
⑦耐震性、老朽化	
⑧H27年度収支	
⑨今後50年間の更新費	



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町町民センター

竣工1973.10.30
延床2,362.80㎡ RC造

【概要】

ホール、机・いす備え付けの会議室、和室、調理実習室、授乳室など、使用目的に応じた各部屋の貸し出しをしている。

役場庁舎の西側斜面に建設されており、町を一望できる。



【現状】

視点	内容
①施設配置	・役場庁舎に隣接。斜面に建てられている。
②利用状況	・各種会議やサークル活動等に利用されている。 ・ホールはあまり利用されていない。 ・近年の年間利用団体数は約2,500～3,000で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・ほぼ貸会議室として機能しており、必ずしも町有である必要はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・生涯学習センター・ラディアンや駅前町民会館等と機能が類似しており統廃合・複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	・管理運営の民営化は可能である。 ・あまり利用されていないスペースの有効活用が必要である。
⑦耐震性、老朽化	・耐震性が低く、設備の老朽化も進んでいる。
⑧H27年度収支	・収入3,355千円、支出12,847千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約11億円

【課題】

- ・耐震性が低く、老朽化も進み更新・改修の緊急性は高い。
- ・更新・改修コストが莫大となる。
- ・あまり利用されていないホール、会議室がある。



施設中央の階段。
上階に行くには階段を登らなければならない

ホール →
稼働率は低い



会議室 →



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町駅前町民会館 竣工1958.3.30 延床689.12㎡ S造(一部木造)

【概要】

ホールと和室がある。
平成22年に公民館から貸館へ運営形態を変えた。
二宮町観光協会に事務所として貸し付けを行っている。



【現状】

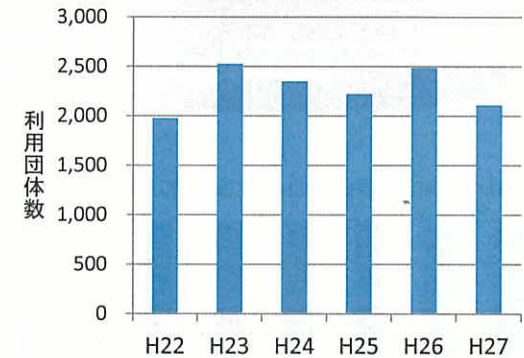
視点	内容
①施設配置	・駅前広場に面している。
②利用状況	・文化活動やサークル活動、各種イベントなど幅広く利用される。 平成22年に公民館から貸館へ運営形態を変え、ダンスパーティーや一般企業による商品説明会など幅広く利用されている。 ・近年の年間利用団体数は約2,000～2,500で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・貸館であり、必ずしも町有である必要はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・生涯学習センター・ラディアンや二宮町町民センター等と機能が類似しており統廃合・複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	・管理運営の民営化、民間ビルへの入居、民間施設との一体整備等が可能
⑦耐震性、老朽化	・耐震性が低く、老朽化も進んでいる。
⑧H27年度収支	・収入1,939千円、支出1,823千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約3億円

【課題】

- ・耐震性が低く、老朽化が進んでいる。
- ・利用率は高い。
- ・廃止を検討する場合には、駅前広場に面した立地を考慮した跡地利用の検討が必要である。



利用団体数の推移



外観



ホール



2階和室へ上がる階段

2-2 施設ごとの現状と課題

(旧) 二宮町ふるさとの家

【概要】

竣工1887 床158.67㎡ 木造

二宮町議会議長、野寄幸雄氏の自邸であった。明治20年頃の建築とされている。

生涯学習の活動、推進、人々の交流の場として平成7年改修整備した。

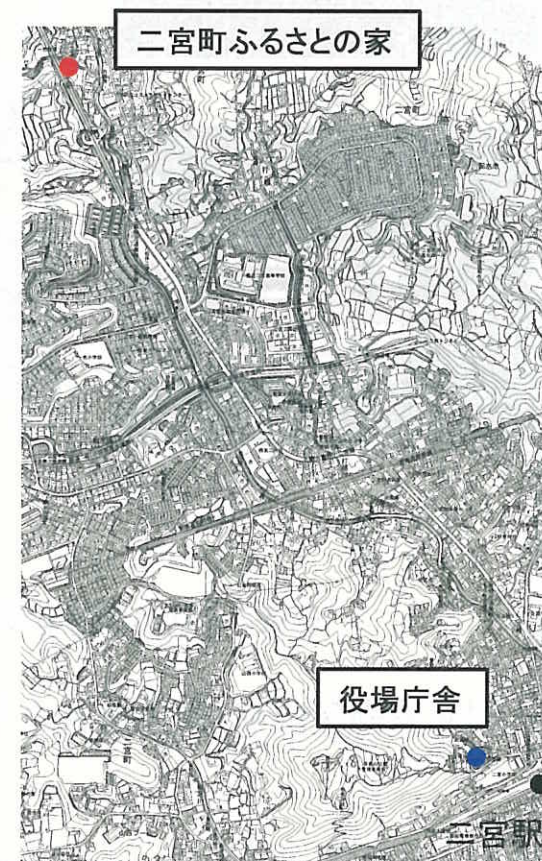


【現状】

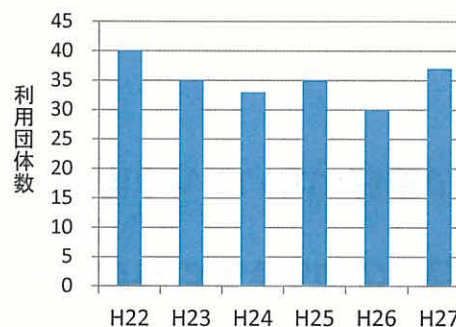
視点	内容
①施設配置	・公共交通ではアクセスしにくい。
②利用状況	・特定の団体の利用に限られている。 ・近年の年間利用団体数は約30~40で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・町が寄贈を受けた施設であり町有が適している。
⑤統廃合・複合化の可能性	・古民家であり統廃合・複合化はできない。
⑥公民連携の可能性	・管理運営の民営化は可能である。
⑦耐震性、老朽化	—
⑧H27年度収支	・収入47千円、支出557千円
⑨今後50年間の更新費	—

【課題】

- ・平成28年9月以降、管理体制が変わる。



利用団体数の推移



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町保健センター

竣工1986.3.31
延床975.70㎡ RC造

【概要】

健診や講座など町の保健事業の拠点。
中郡医師会に事務所として貸し付けを行っている。



【現状】

視点	内容
①施設配置	・県道71号線沿いに立地する。
②利用状況	・町民が健診や講座など町の保健事業の拠点として利用している。 ・利用されていない部屋がある。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・民間の建物に入居することも可能。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の施設との複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	・保健事業の民営化は困難だが、施設の有効活用に公民連携の可能性はある。
⑦耐震性、老朽化	・耐震性はあるものの、設備の老朽化が進んでいる。
⑧H27年度収支	・収入420千円、支出4,706千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約5億円

【課題】

- ・耐震性はあるものの、老朽化が進み更新・改修の緊急性は高い。
- ・利用されていない部屋の有効活用が必要である。



調理室



多目的室

2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町福祉ワークセンター

竣工1995.3.20
延床517.71㎡
S造・一部木造

【概要】

高齢者や心身障害者のため生きがいづくりや社会参加の場である「二宮町シルバー人材センター」と心身障害者小規模通所授産所「カナカナ」が設置されている。



【現状】

視点	内容
①施設配置	・緑が丘の小田原厚木道路沿いに立地
②利用状況	・社会福祉団体が利用している。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・民間の建物に入居することも可能であり、必ずしも町有である必要はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の施設との複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	・関係団体が管理することも可能
⑦耐震性、老朽化	・平成7年竣工であり、新耐震基準に適合し、老朽化も進んでいない。
⑧H27年度収支	・収入0円、支出1,549千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約2億円

【課題】

- ・築年数が浅いため、予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・関係団体と連携し、スペースの有効活用を図る必要がある。



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町立体育館 竣工1985.3.31 延床2,141.02㎡ RC造(一部S造)

【概要】

体育室、トレーニングルームの他に多目的室、会議室もあり、健康づくりや、各種スポーツサークルの打ち合わせに利用可能な施設。

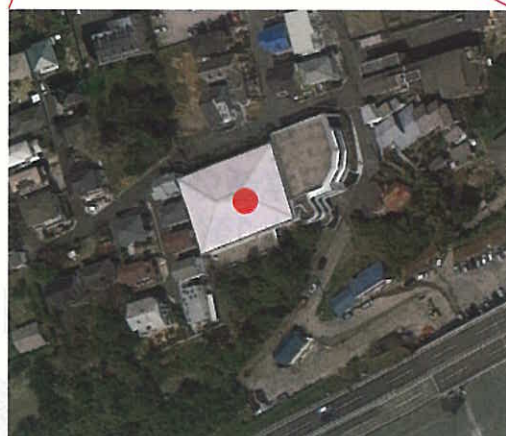


【現状】

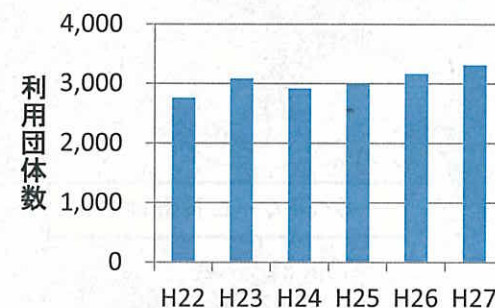
視点	内容
①施設配置	・山西地区の海岸近くになり、町の北部からはアクセスしにくい。
②利用状況	・町民やスポーツ団体が利用している。 ・近年の年間利用団体数は約2,500～3,000で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・大規模な施設であるが、低料金で町民にサービスを提供するため収益が上がりにくい。また、避難所でもあるため、町有が適している。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の体育施設との統合が可能である。
⑥公民連携の可能性	・管理運営に民間のノウハウを活用することは可能。
⑦耐震性、老朽化	・耐震性はあるものの、設備の老朽化が進んでいる。
⑧H27年度収支	・収入5,379千円、支出9,783千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約12億円

【課題】

- ・耐震性はあるものの、避難所であり、老朽化が進み更新・改修の緊急性は高い。
- ・トレーニングルームは町民温水プールと機能が重複している。
- ・あまり利用されていない部屋があり有効活用が必要である。
- ・民間のノウハウを活用した管理運営によるサービスの向上と効率化が期待できる。



利用団体数の推移



体育室



トレーニングルーム

2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町民運動場

竣工1990.3.30
延床210.50㎡ 鉄骨造

【概要】

野球(軟式)やサッカー、陸上など各種スポーツに利用できる多目的グラウンドがある。



【現状】

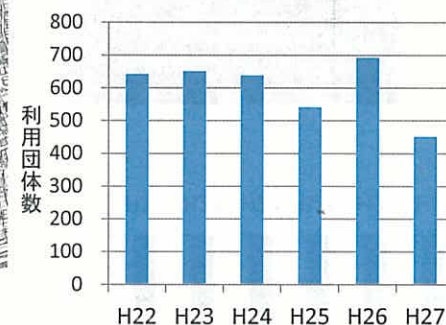
視点	内容
①施設配置	・山西地区の丘陵にあり、町の北部からはアクセスしにくい。
②利用状況	・近年の年間利用団体数は約500～700で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・収益があがりにくい施設であり町有が適している。
⑤統廃合・複合化の可能性	・グラウンドが施設の中心であり統廃合・複合化はできない。
⑥公民連携の可能性	・管理運営に民間のノウハウを活用することは可能。
⑦耐震性、老朽化	・耐震性はあるが、老朽化も進んでいない。
⑧H27年度収支	・収入2,110千円、支出9,857千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約0.8億円

【課題】

- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・民間のノウハウを活用した管理運営によるサービスの向上と効率化が期待できる。



利用団体数の推移



管理棟



駐車場

2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町武道館

竣工1980.3.30
延床644.47㎡ RC造

【概要】

剣道・空手・柔道・合気道など、
武道のほか各種軽スポーツの場
として利用が可能。



【現状】

視点	内容
①施設配置	・役場庁舎に隣接している。
②利用状況	・武道のサークルが利用している。 ・近年の年間利用団体数は1000前後で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・収益があがりにくい施設であり町有が適している。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の体育施設との統合が可能である。
⑥公民連携の可能性	・管理運営に民間のノウハウを活用することは可能。
⑦耐震性、老朽化	・耐震性が低く、老朽化が進んでいる。
⑧H27年度収支	・収入1,282千円、支出800千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約4億円

【課題】

- ・耐震性が低く、老朽化が進んでおり更新・改修の緊急性は高い。
- ・更新・改修コストが莫大である。



施設上部は駐車場として利用されている。



武道館内部



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町民温水プール

竣工1994.2.28
延床2,022.37㎡ RC造

【概要】

町営の温水プール。一般用の大プールと幼児用の小プール、ジャグジープール多目的ルームなどがある。

駐車場も60台分完備。



【現状】

視点	内容
①施設配置	・中里地区の丘陵地にあり、アクセスしにくい。
②利用状況	・町民だけでなく近隣自治体の利用者も多い。 ・小中学校の体育で使用している。水泳教室も開催している。 ・年間利用者数は増加傾向で、平成27年度は約6.7万人であった。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・公共のプールであるため収益があがりやすく、小中学校の体育で利用しており町有が適している。
⑤統廃合・複合化の可能性	・トレーニングルームが町立体育館と重複している。
⑥公民連携の可能性	・管理運営に民間のノウハウを活用することは可能。
⑦耐震性、老朽化	・耐震性はあるが、設備のいたみが早い。
⑧H27年度収支	・収入19,154千円、支出56,092千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約11億円

【課題】

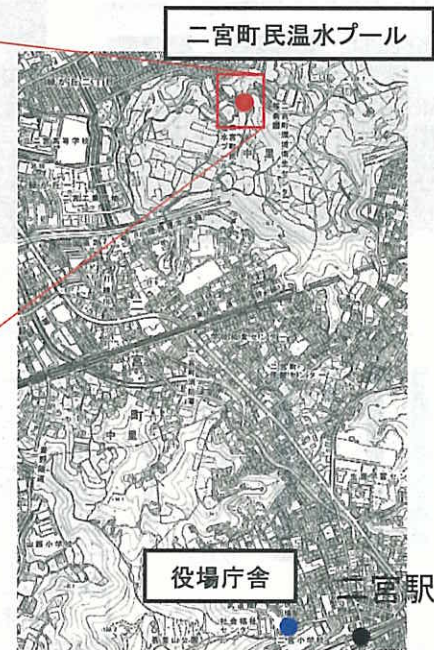
- ・維持管理費の負担が大きく、現状の施設の維持が困難である。
- ・施設の特徴から設備の劣化が進みやすく、維持管理コストが大きい。
- ・トレーニングルームは、町立体育館と機能が重複している。
- ・民間のノウハウを活用した管理運営によるサービスの向上と効率化が期待できる。



プール



トレーニングルーム



2-2 施設ごとの現状と課題

町営山西プール

竣工1982.6.10
延床372.41㎡ RC造

【概要】

50Mプールと小プールがある。
屋外のため開設期間は例年7月1日～8月31日。

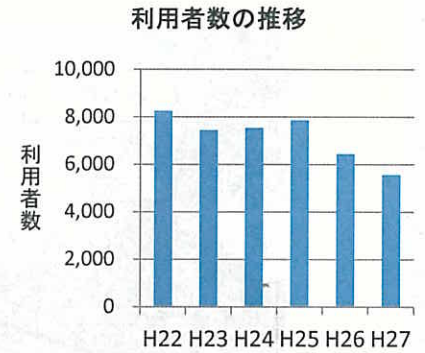


【現状】

視点	内容
①施設配置	・山西地区の丘陵にあり、町の北部からはアクセスしにくい。
②利用状況	・7月から8月に供用し、町民や小中学校の体育で利用されている。 ・利用者数は減少傾向で、H27年度は約5500人であった。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・収益が上がりにくい施設であり町有が適している。
⑤統廃合・複合化の可能性	・広域連携や民間施設の利用等によりサービスの維持が可能であれば廃止も可能。
⑥公民連携の可能性	・管理運営に民間のノウハウを活用することは可能。
⑦耐震性、老朽化	・新耐震基準で整備。老朽化は顕著ではない。
⑧H27年度収支	・収入590千円、支出8,250千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約2億円

【課題】

- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・民間のノウハウを活用した管理運営によるサービスの向上と効率化が期待できる。



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町生涯学習センター ラディアン

竣工2000.7.31 延床5,284.57㎡ S・RC造

【概要】

マルチルームやホール、ミーティングルーム、展示ギャラリーなどがある。

図書館での各資料及び、ホール、部屋の貸し出しも行っている。

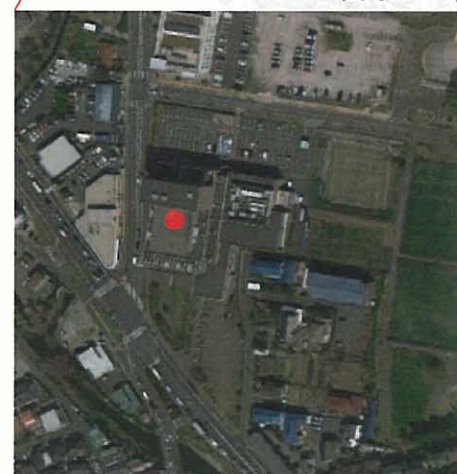
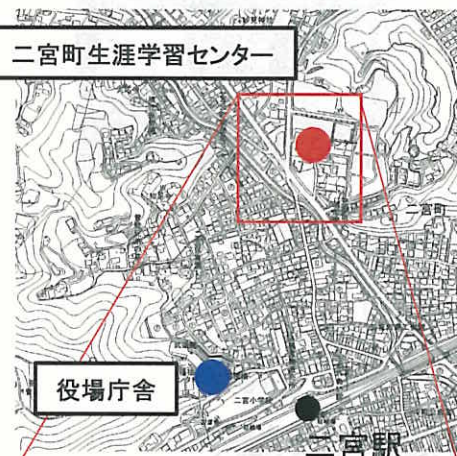


【現状】

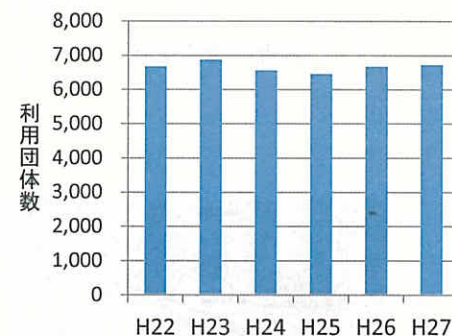
視点	内容
①施設配置	・県道71号沿い、二宮駅から徒歩10分、バス路線も充実している。
②利用状況	・生涯学習センター、図書館とも利用率は高い。 ・近年の年間利用団体数は6000～7000で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・収益があがりにくい施設であるため、町の所有が適している。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の貸館や文化施設と連携した管理運営が可能である。
⑥公民連携の可能性	・管理運営に民間のノウハウを活用することは可能。
⑦耐震性、老朽化	・新耐震基準に適合している。今後、設備の更新費用が問題となる。
⑧H27年度収支	・収入16,711千円、支出52,645千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約22億円

【課題】

- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・民間のノウハウを活用した管理運営によるサービスの向上と効率化が期待できる。



利用団体数の推移



ホール



ミーティングルーム



図書館

2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町ふたみ記念館

竣工2011.3.2
延床221.93㎡ 木造

【概要】

吾妻山公園の西に位置する。常設展示で二宮に生まれ育った画家、二見利節の作品その他関連する資料を収集、保管、展示、公開している。展示ギャラリーとして貸出もしている。



【現状】

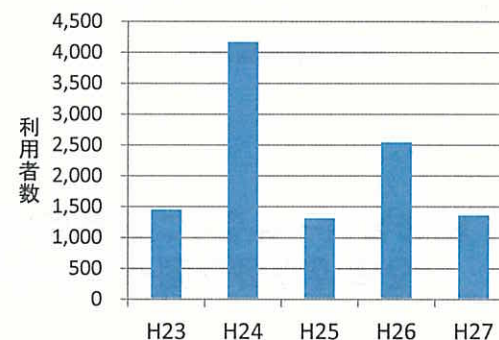
視点	内容
①施設配置	・山西地区の丘陵にあり、アクセスしにくい。
②利用状況	・二見利節の作品の観覧のほか、展示ギャラリーとしても利用されている。 ・年間利用者数は変動が大きく、1,000～4,000人で推移している。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・町に寄贈された施設であり、町有が適当である。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の貸館や文化施設と連携した管理運営が可能である。
⑥公民連携の可能性	・管理運営に民間のノウハウを活用することは可能。
⑦耐震性、老朽化	—
⑧H27年度収支	・収入141千円、支出3,944千円
⑨今後50年間の更新費	—

【課題】

- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・交通アクセスが悪く、利用率が低い。
- ・民間のノウハウを活用した管理運営によるサービスの向上と効率化が期待できる。



利用者数の推移



2-2 施設ごとの現状と課題

小学校・中学校

【概要】

小・中学校教育を行う施設。

また、学校教育に支障のない範囲でスポーツ団体に体育施設を開放するとともに、災害時には避難場所となる。

施設名称	竣工年月日	延床面積	学区人口		H27支出
			H22	H72	
二宮小学校	校舎S46~48 体育館S50	7,223 ㎡	566 人	201 人	49,420 千円
一色小学校	校舎S41,45 体育館S48	5,518 ㎡	308 人	95 人	15,893 千円
山西小学校	校舎S52 体育館S53	6,180 ㎡	628 人	208 人	18,073 千円
二宮中学校	校舎S35,S44, S60 体育館S43	7,428 ㎡	406 人	135 人	19,006 千円
二宮西中学校	校舎S55,S56 体育館S55	7,114 ㎡	501 人	239 人	36,143 千円

※学区人口：小学校7～12歳、中学校13～15歳の学区内メッシュ人口

【課題】

- ・全ての学校が耐震化済みであり、更新・改修の緊急性は低い。
- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・将来的には、児童数が減少に応じて統廃合が必要となる。

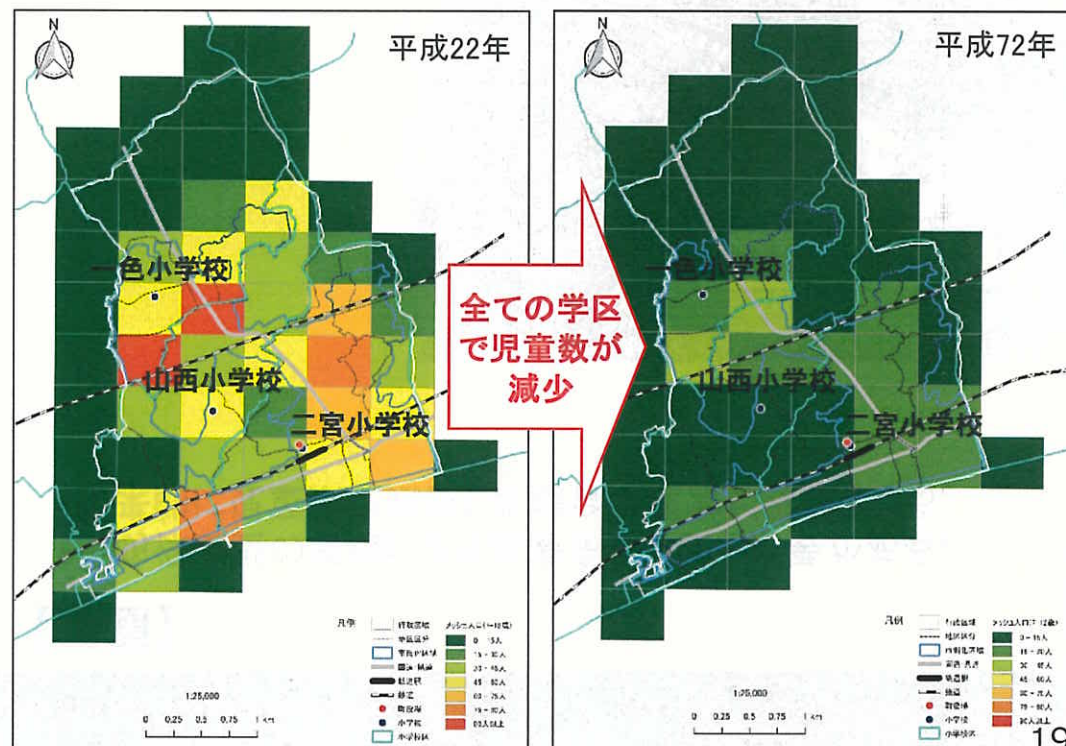


二宮小学校

【現状】

視点	内容
①施設配置	・南北に分かれた学区ごとに小中学校が立地。
②利用状況	・学校教育とともに、体育施設を開放。
③管理体制	・町が所有、管理。
④町有の必要性	・避難場所でもあり、町有の必要性は高い。
⑤統廃合・複合化の可能性	・生徒数の減少は確実であり、将来的な統廃合は必須である。
⑥公民連携の可能性	・民間の参入可能性は低い。
⑦耐震性、老朽化	・全て旧耐震基準だが、耐震補強は実施済み。
⑧H27年度収支	・収入0円、支出138,535千円
⑨今後50年間の更新費	・二宮小23.8億円、一色小18.2億円、山西小20.4億円、二宮中24.5億円、二宮西小23.5億円

小学校の配置と7～12歳人口の変化



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町学校給食センター

竣工2010.7.31
延床1,421.08㎡
S造

【概要】

二宮町内の小学校3校、中学校2校を対象に約2,300食分の給食を調理、配送している。



【現状】

視点	内容
①施設配置	・緑が丘の小田原厚木道路沿いに立地
②利用状況	・町内の小中学校に給食の調理・配送を行っている。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・現状では、安全な給食を提供するため、町有が妥当である。
⑤統廃合・複合化の可能性	・広域化も考えられる。(事例:十和田地域広域事務組合、吉田町牧の原市広域施設組合等)
⑥公民連携の可能性	・給食センターの民営化を実施している事例がある。(事例:浜田市、千葉市、静岡市、福岡市等)
⑦耐震性、老朽化	・平成22年竣工で新しい。
⑧H27年度収支	・収入:0円、支出:70,221千円
⑨今後50年間の更新費	・新しいため、当面更新コストは見込まれない。

【課題】

- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・将来的に児童数が減少した場合の運営が課題となる。



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町立百合が丘保育園

竣工1971
延床455.86㎡
RC造

【概要】

通常の預かり保育だけでなく、保育園に入園していない子どもも参加可能な開放保育や、一時預かり事業、育児相談の場として活用されている。



【現状】

視点	内容
①施設配置	・百合が丘地区に立地している。
②利用状況	・町内の就学前の子どもが通園する。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・他市町村の実例を見れば、必ずしも町有である必要はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の施設と複合化することは可能である。
⑥公民連携の可能性	・民間へ移管することは可能である。
⑦耐震性、老朽化	・耐震化済み ・施設全体として老朽化している。
⑧H27年度収支	・収入24,940千円、支出2,666千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約2億円

【課題】

- ・施設が老朽化している。



2-2 施設ごとの現状と課題

子育てサロン

【概要】

地域の子育て支援機能を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するための施設。

子育て親子の交流促進、相談、援助情報提供、講習等を実施。



百合が丘子育てサロン

【課題】

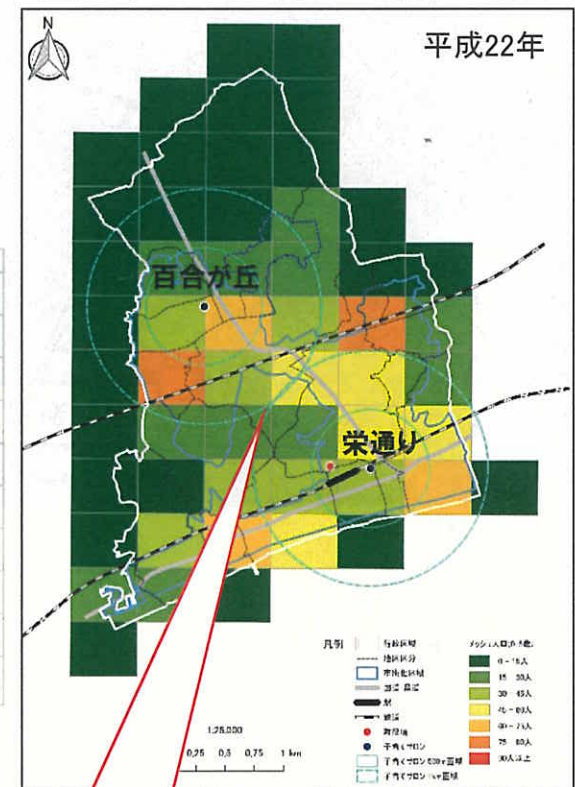
- ・将来的には、乳幼児の減少を踏まえ、他施設との複合化又は民間施設でのサービス継続の検討が必要となる。
- ・隣接する二宮町町民サービスプラザとの統合が考えられる。

施設名称	竣工年月日	延床面積	500m圏 0-5歳人口		H27 収入	H27 支出
			H22	H72		
百合が丘	S41.2.15	- m ²	158人	75人	0千円	3,948千円
二宮町栄通り	H22.5.7	123.38m ²	100人	41人	5,332千円	2,868千円

【現状】

視点	内容
①施設配置	・町の南北(駅前、百合が丘)にバランスよく立地。
②利用状況	・百合が丘の利用者数は減少傾向。
③管理体制	・町が管理運営。なお、百合が丘は借上げ。
④町有の必要性	・必ずしも町有の必要性はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・他の機能との複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	・サービスの民営化が可能。
⑦耐震性、老朽化	・百合が丘は老朽化が著しい。
⑧H27年度収支	・収入5,332千円、支出6,816千円 (百合が丘は賃貸料年額1,406千円)
⑨今後50年間の更新費	・百合が丘は借上げ、栄通りは新しいため、当面更新コストは見込まれない。

子育てサロンの立地と0~5歳人口の分布



利用者数の推移



徒歩圏域が重複せず、バランスよく配置

2-2 施設ごとの現状と課題

分団詰所

【概要】

消防団の活動拠点とし火災や風水害等の災害に備えるための施設。

施設名称	竣工年月日	延床面積	H27 支出
第1分団詰所	H21.1.26	71.00㎡	247千円
第2分団詰所	S39.3.30	66.11㎡	733千円
第3分団詰所	H26.3.28	189.00㎡	250千円
第4分団詰所	S41.1.15	62.81㎡	81千円
第5分団詰所	S58.6.30	56.78㎡	184千円

【現状】

視点	内容
①施設配置	・分団の管轄エリアごとに配置。 ・多くが人口密度の高い地域に配置されている。
②利用状況	・毎月の定期訓練、機関点検、秋・春季火災予防週間、歳末火災特別警戒等に利用されている。
③管理体制	・分団で管理。土地・建物の所有は町(一部借用)。
④町有の必要性	・必ずしも町有の必要性はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・既に第2分団詰所は公会堂と併設されており、他施設との複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	—
⑦耐震性、老朽化	・全て新耐震基準又は耐震補強済。
⑧H27年度収支	・収入0円、支出1,495千円
⑨今後50年間の更新費	・第1分団177万円、第2分団2,644万円、第4分団2,512万円、第5分団2,271万円

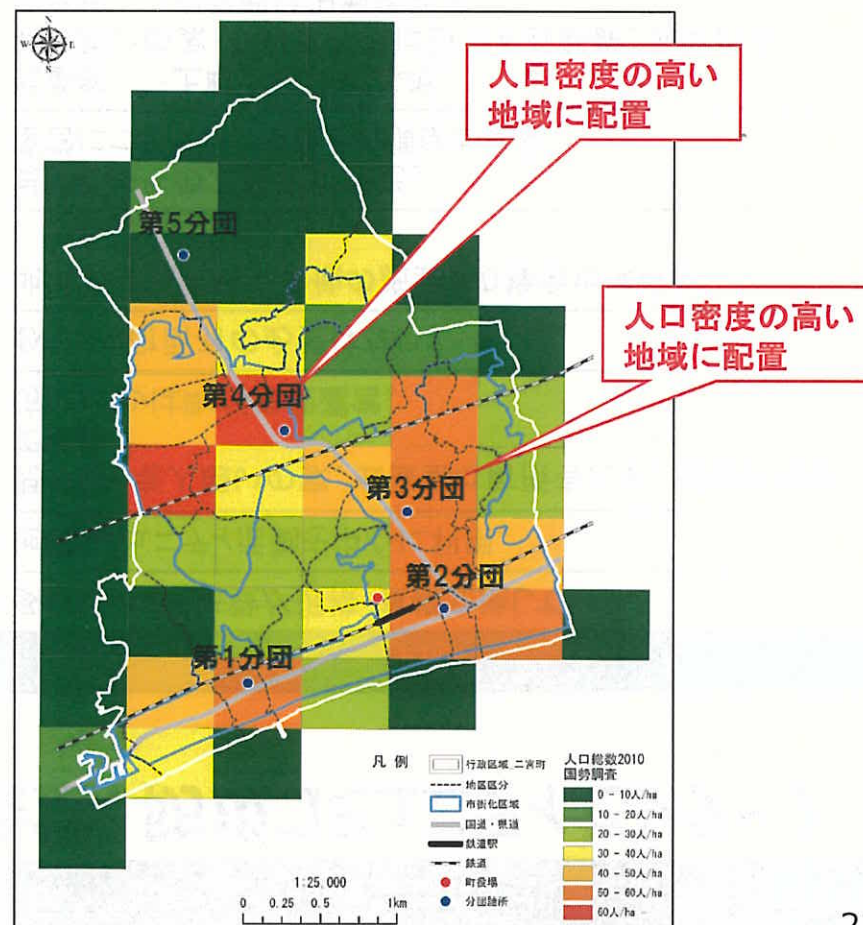
【課題】

- ・耐震化済みであり、予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・将来的には他施設の更新に合わせた複合化の検討が必要。



第5分団詰所

分団詰所の配置と人口分布



2-2 施設ごとの現状と課題

地域集会施設（児童館、老人憩いの家、公会堂、防災コミュニティセンター）

【概要】

地域活動の拠点及び町民活動の推進を図るための活動の場。

種別	施設名称	竣工年月日	延床面積	H27	
				収入	支出
児童館	上町	S53.3.31	167.73㎡	—	212千円
	越地	H2.12.25	183.83㎡	—	216千円
	茶屋	S57.12.12	123.87㎡	—	184千円
	下町	S63.12.23	180.18㎡	—	269千円
	百合が丘	H2.3.12	311.81㎡	—	292千円
	富士見が丘	H6.3.15	210.49㎡	24千円	231千円
	釜野	H14.3.27	225.23㎡	—	228千円
	松根	H19.3.29	156.87㎡	—	211千円
老人憩いの家	下町	S47.3.31	182.18㎡	—	238千円
	茶屋	S47.9.1	180.02㎡	—	234千円
	中里	S52.3.31	186.68㎡	—	376千円
	梅沢	S54.3.31	217.00㎡	—	317千円
	入川匂	S55.3.31	140.77㎡	—	646千円
	富士見が丘	S56.3.31	206.49㎡	—	780千円
	百合が丘(旧館)	S47.3.31	237.88㎡	—	218千円
	百合が丘(新館)	S60.4.1	201.96㎡	—	200千円
公会堂	元町	S63.3.31	226.20㎡	—	240千円
	中里西	S56.3.5	104.11㎡	—	171千円
防災コミュニティセンター	百合が丘	H24.3.30	245.57㎡	—	195千円
	山西	H9.3.20	306.15㎡	28千円	1,172千円
	緑が丘	H11.3.15	239.96㎡	284千円	1,196千円
	富士見が丘	H12.3.15	263.04㎡	107千円	1,119千円
	元町北	H14.3.10	294.82㎡	273千円	1,260千円
	中里	H16.3.25	277.02㎡	399千円	1,097千円
	一色	H21.5.25	281.04㎡	420千円	2,976千円

【現状】

視点	内容
①施設配置	・多くの地域で施設が近接・重複立地している。
②利用状況	・地域コミュニティ活動を中心に利用。
③管理体制	・児童館、老人憩いの家、公会堂は町所有だが、運営は地域で実施。 ・防災コセンは町が管理運営。
④町有の必要性	・必ずしも町所有の必要はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・地域集会施設同士や他の施設との複合化は可能。
⑥公民連携の可能性	・民間ビルへの入居等が可能。 ・運営については、地域との調整が必要。
⑦耐震性、老朽化	・児童館：上町が旧耐震基準。 ・老人憩いの家：新耐震基準は百合が丘新館、元町のみ。 ・公会堂：中里西は旧耐震基準。 ・防災コセン：全て新耐震基準であり、老朽化も進んでいない。 ・全ての施設が一時避難所。
⑧H27年度収支	・児童館：収入24千円(富士見が丘)、支出1,843千円(8館合計) ・老人憩いの家：収入0円、支出3,249千円(9館合計) ・公会堂：収入24千円、支出366千円(2館合計) ・防災コセン：収入1,511千円、支出8,820千円(6館合計)
⑨今後50年間の更新費	・児童館：約0.7億円/館(松根を除く) ・老人憩いの家：約0.7億円/館 ・公会堂：約0.3億円/館(中里西) ・防災コセン：施設が全て新しいため更新対象に含まない。

2-2 施設ごとの現状と課題

地域集会施設（児童館、老人憩いの家、公会堂、防災コミュニティセンター）

【課題】

- ・上町児童館や老人憩いの家の大半、中里西公会堂は耐震性が低い。
- ・多くの地域で施設が近接・重複立地している。
- ・児童館、老人憩いの家、公会堂は地域が運営しているため、十分な調整が必要。



百合が丘児童館



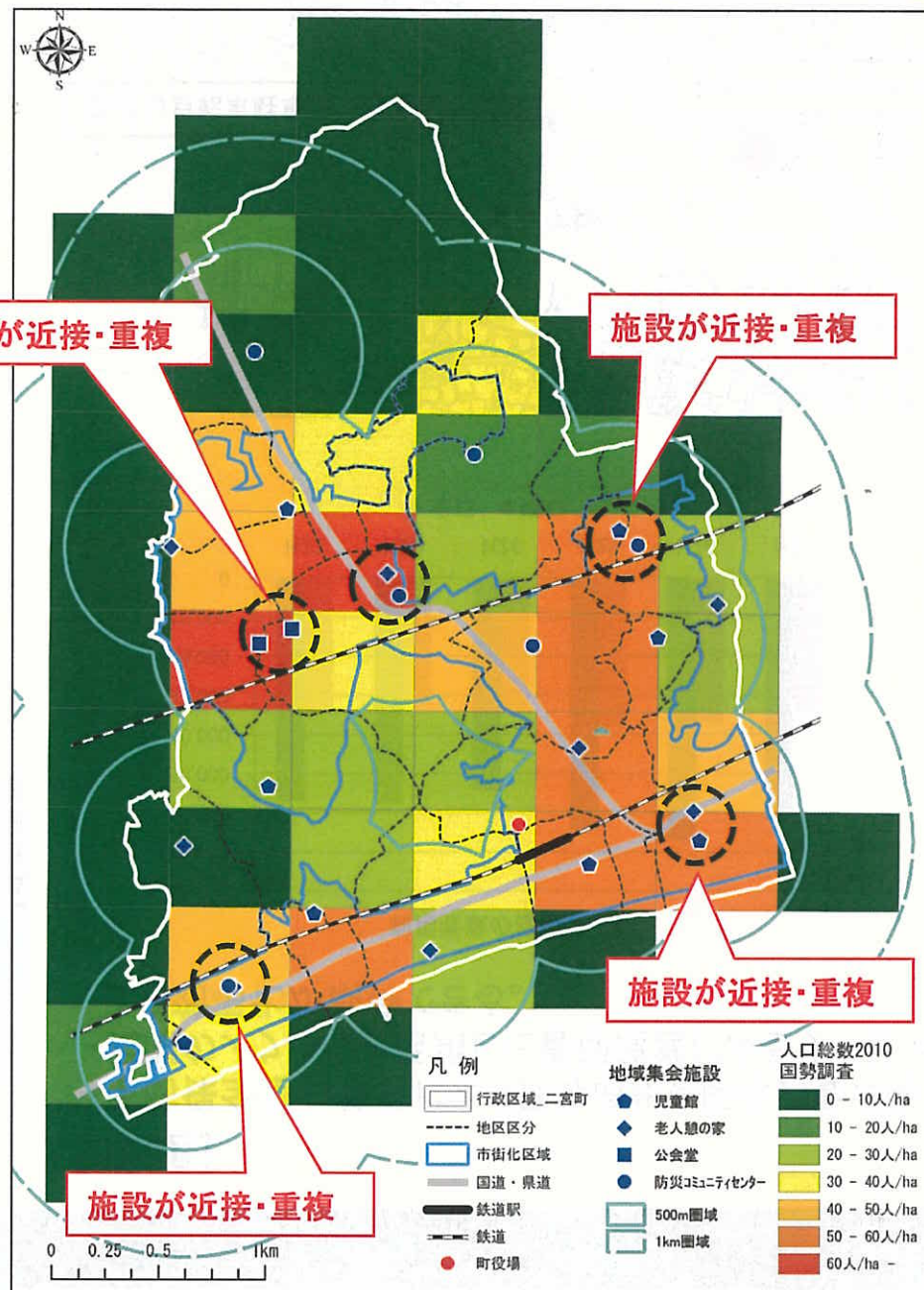
下町老人憩いの家



百合が丘公会堂



山西防災コミュニティセンター



2-2 施設ごとの現状と課題

自転車駐車場

【概要】

二宮駅を利用する町民のために駅の北口と南口にそれぞれ駐車場が設けられている。

施設名称	竣工年月日	延床面積	構造	H27支出
駅北口	H1.2	1,477.90 m ²	S造	23,485
駅南口	H7.3	604.39m ²	S造	7,417



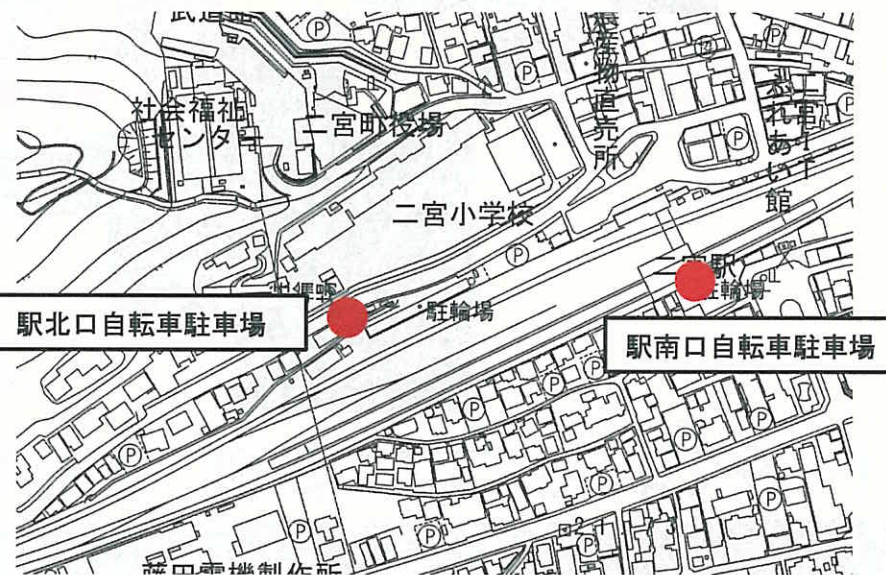
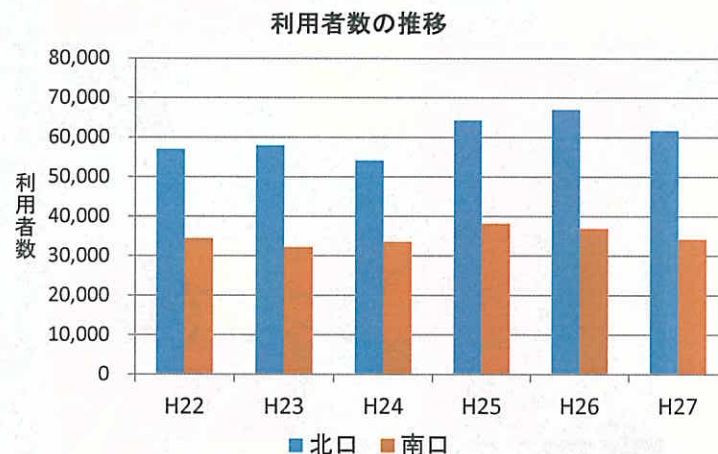
駅北口自転車駐車場

【現状】

視点	内容
①施設配置	・二宮駅の北口と南口に設置している。
②利用状況	・駅北口は駅南口の2倍ほどの利用者がいる。 ・北口：近年の年間利用者数は50千人～70千人で推移。 ・南口：近年の年間利用者数は30千人台で推移。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・必ずしも町有である必要性はない。
⑤統廃合・複合化の可能性	・建物に併設することは可能。
⑥公民連携の可能性	・民間ビルとの一体的な整備、管理運営の民営化等が可能
⑦耐震性、老朽化	・新耐震基準に準拠している。
⑧H27年度収支	・収入39,359千円、支出30,902千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：(北口)約5億円、(南口)約2億円

【課題】

- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。
- ・民間のノウハウを活用した管理運営によるサービスの向上と効率化が期待できる。



2-2 施設ごとの現状と課題

袖が浦プール

竣工 不明 延床175.71㎡
鉄骨造

【概要】

25Mプールと、幼児用の小プールを備えている。

毎年7月1日～8月31日に開設。

平成28年度は、休止している。

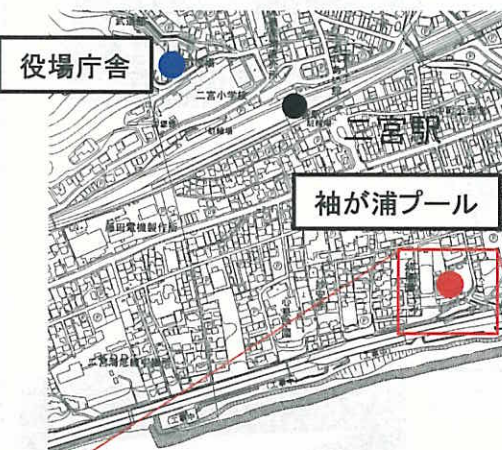


【現状】

視点	内容
①施設配置	・山西袖が浦の海岸近くに立地。
②利用状況	・休止中である。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・休止中であり、町有の必要性は低い。
⑤統廃合・複合化の可能性	・休止中であり廃止も可能。
⑥公民連携の可能性	・廃止後の利活用に民間のノウハウの活用が可能である。
⑦耐震性、老朽化	—
⑧H27年度収支	・収入373千円、支出6,215千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：約0.6億円

【課題】

- ・利用者が少なく、休止中である。
- ・今後、公園と一体的に検討する必要がある。



25mプール

2-2 施設ごとの現状と課題

公園管理棟

【概要】

管理室はスタッフによる打合せ等に、休憩室は来園者の休憩の場として利用されている。

施設名称	竣工年月日	延床面積	構造	H27支出
吾妻山公園	H24.3.30	52.99㎡	木造	6,352
せせらぎ公園	H3.3	47.19㎡	木造	2,869
果樹公園	H14.4	99.80㎡	木造	5,383

【現状】

視点	内容
①施設配置	・各公園内に整備されている。
②利用状況	・公園スタッフの打合せ、来園者の休憩に利用されている。
③管理体制	・町が管理している。
④町有の必要性	・公園施設であるため、町有が適当である。
⑤統廃合・複合化の可能性	・各々の公園の管理に必要であるため、統廃合・複合化はできない。
⑥公民連携の可能性	・公園管理を民間事業者へ委託することは可能である。
⑦耐震性、老朽化	—
⑧H27年度収支	・収入：0円、支出：14,604千円
⑨今後50年間の更新費	・更新費：0.5億円

【課題】

- ・予防保全型の管理により長寿命化を図る必要がある。



せせらぎ公園管理棟



果樹公園管理棟



吾妻山公園管理棟



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町ITふれあい館 (現みちる愛児園)

竣工2003.3.10 延床254.70m² 鉄骨造

【概要】

社会福祉法人によって運営される。保護者が家庭で日常的に保育するのが難しい場合、代わりに児童を保育する施設。



【現状】

視点	内容
①施設配置	
②利用状況	
③管理体制	
④町有の必要性	二宮町ITふれあい館は、現在、保育園として民間に貸与しているため、検討対象としないこととする。
⑤統廃合・複合化の可能性	
⑥公民連携の可能性	
⑦耐震性、老朽化	
⑧H27年度収支	
⑨今後50年間の更新費	



2-2 施設ごとの現状と課題

にのみや町民活動サポートセンター

竣工 不明 延床 -m² 鉄骨造

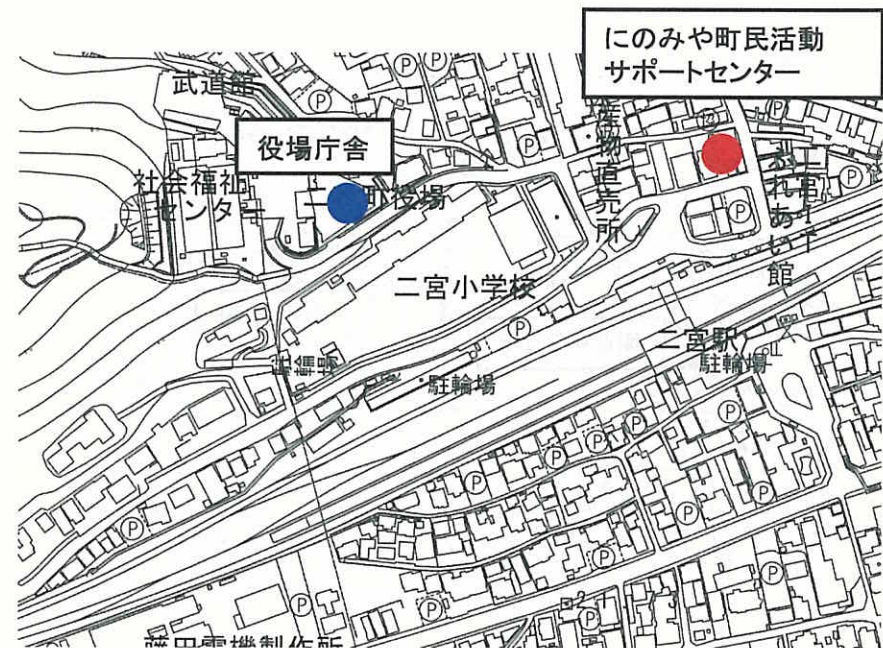
【概要】

北口通り商店街(ITふれあい館前)に位置し、町民活動を支援・推進・応援する施設として、開設された。



【現状】

視点	内容
①施設配置	
②利用状況	
③管理体制	
④町有の必要性	平成28年10月から二宮町町民センターに移転するため、検討対象としないこととする。
⑤統廃合・複合化の可能性	
⑥公民連携の可能性	
⑦耐震性、老朽化	
⑧H27年度収支	
⑨今後50年間の更新費	



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町環境衛生センター桜美園

竣工1976.12.11 延床3,048.73㎡ RC造

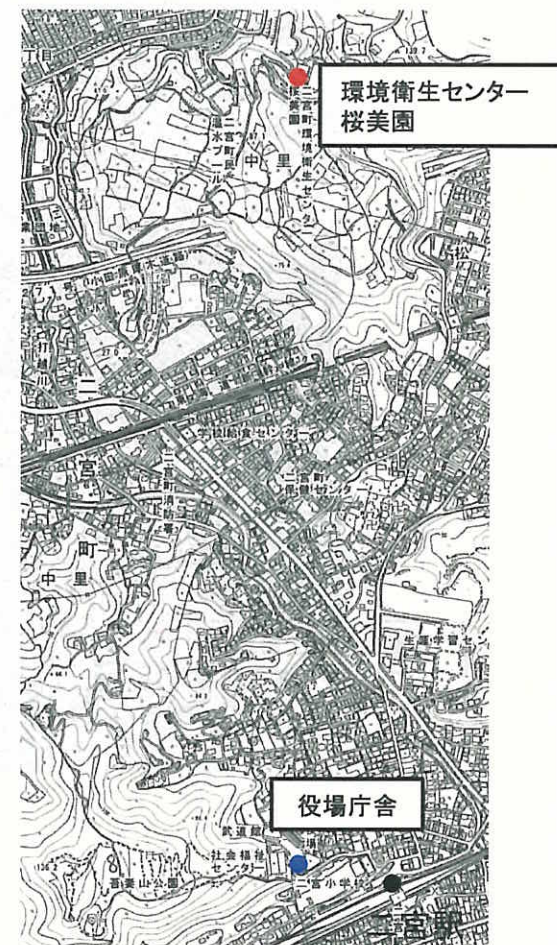
【概要】

ごみの分別、し尿処理、ごみ持込みの受付のための施設。



【現状】

視点	内容
①施設配置	
②利用状況	
③管理体制	
④町有の必要性	し尿処理施設・特殊施設であり別途検討するため、検討対象としないこととする。
⑤統廃合・複合化の可能性	
⑥公民連携の可能性	
⑦耐震性、老朽化	
⑧H27年度収支	
⑨今後50年間の更新費	



2-2 施設ごとの現状と課題

二宮町ごみ積替施設

竣工2011.11.25
延床487.91㎡
鉄骨造(一部RC造)

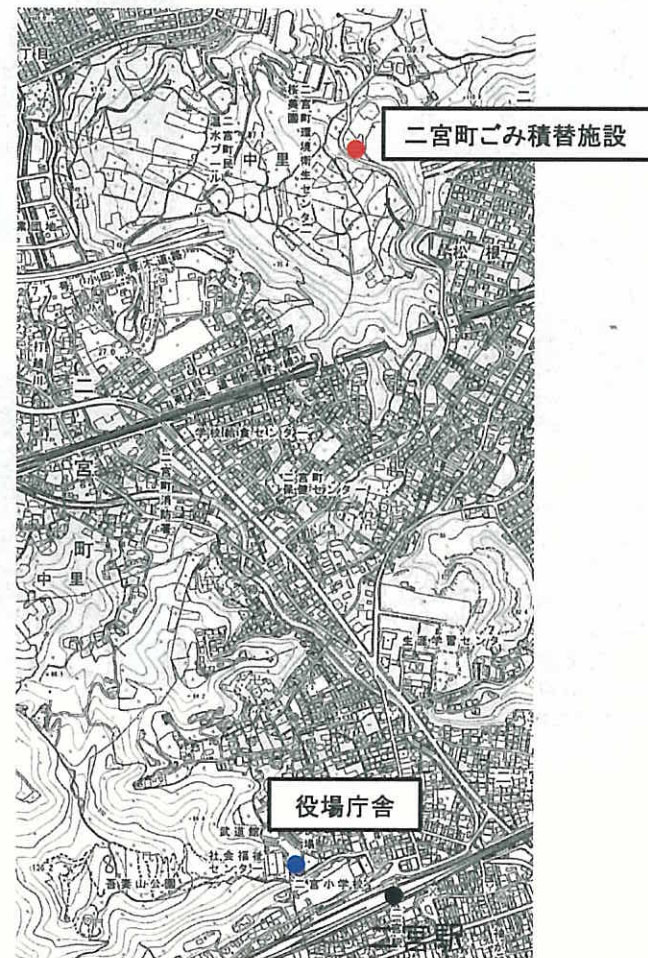
【概要】

町内のごみを収集業者が搬入し、大型コンテナに積み替え、処理施設へ運搬する業者が搬出するため利用されている。



【現状】

視点	内容
①施設配置	
②利用状況	
③管理体制	
④町有の必要性	平塚市・大磯町・二宮町で広域管理しているため、検討対象としないこととする。
⑤統廃合・複合化の可能性	
⑥公民連携の可能性	
⑦耐震性、老朽化	
⑧H27年度収支	
⑨今後50年間の更新費	



2-2 施設ごとの現状と課題

ウッドチップセンター 竣工2015.9.30 延床1487.8㎡
S造

【概要】

1市2町ごみ処理広域化により、平塚市、大磯町、二宮町の各家庭や公園などから排出される剪定枝を焼却処理せず、チップ化することで、資源として発電燃料や堆肥原料にリサイクルする施設。



【現状】

視点	内容
①施設配置	
②利用状況	
③管理体制	
④町有の必要性	平塚市・大磯町・二宮町で広域管理しているため、検討対象としないこととする。
⑤統廃合・複合化の可能性	
⑥公民連携の可能性	
⑦耐震性、老朽化	
⑧H27年度収支	
⑨今後50年間の更新費	

